

としょかん南アルプス

南アルプス市立図書館通信 No.35 2017年3月10日発行 <http://m-alps-lib.e-tosho.jp/>

「弥生（やよい）」は3月の別名。いよいよ（弥）生い茂る（生）という意味があります。草木が芽吹き、風景が一層美しく見えるこの季節に、図書館の本との素敵な出会いがありますように。みなさまのご来館を職員一同お待ちしております。

南アルプス市立図書館長 上田 弥生 うえだ やよい

私が司書という仕事に就いて、間もなく30年が過ぎようとしています。学校図書館に20年、市立図書館に10年勤務する間に、たくさんの方々との出会いがありました。

学校図書館では、児童・生徒、教職員、そして保護者の方々との出会いの中で、学校司書としてさまざまな経験を重ね、自分自身を成長させることができました。

市立図書館勤務となってからは、赤ちゃんから高齢者までという幅広い年齢層の市民の方々との出会いをとおり、司書という仕事の奥深さと楽しさを実感しました。

学校図書館では、各学校の教育課程にのっとり、必要とする資料をそろえ、児童・生徒や教職員に提供しています。図書館として奉仕する対象も提供する資料も、学校図書館法で定められた範囲の中にあります。

一方、市立図書館には、あらゆる年齢層の方々が必要とする資料や情報などをそろえ、すべての市民の方々に図書館サービスを提供していくという幅広い役割があります。

そして市民一人ひとりが必要としている事柄を聞き取り理解し、その要求に応えられる資料を見つけ提供するのが司書です。つまり専門的知識を活かし、人と資料とを結びつけるのが、私たち司書の仕事なのです。

山梨県立図書館の阿刀田高館長は、「図書館は施設と資料と人で成り立っている。施設は3番目で資料は2番目。一番重要なのは人。その人には図書館員だけでなく図書館利用者も含まれる。」とおっしゃっています。



<図書館エントランスにて 上田図書館長>

いくら立派な図書館を建てても、また豊富な資料をそろえても、資料を必要とする人である利用者と、それを提供する人である司書との信頼関係がなければ図書館は成り立ちません。

私たち司書は、図書館で一番重要な役割を担っているということを十分認識し、市民の方々とともに、今後もより良い図書館づくりを目指していきたいと考えています。

司書という仕事

全国優良読書グループ表彰 受賞

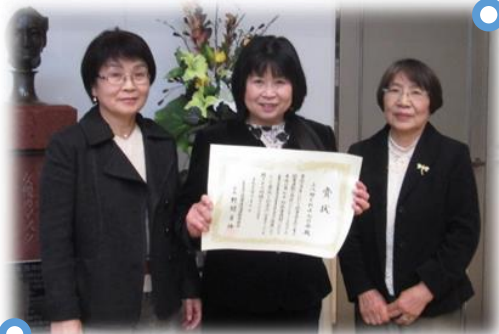
上八田一坪図書館

くれよんの会

この表彰は、公益社団法人 読書推進運動協議会の「読書週間」事業のひとつとして、全国の優良読書グループを対象に行われています。

今年度山梨県内では、「上八田一坪図書館くれよんの会」(市川美江子代表)が受賞し、第30回山梨県図書館大会(平成28年11月30日開催)で表彰されました。

同会は市立図書館の「おはなし会0.1.2.」「おはなし会スペシャル」など多くの行事に協力いただいています。これからのますますのご活躍をお祈りします。



<表彰状を手に>

小田切会員・市川代表・古屋会員



<図書館大会で>

市川代表の受賞者あいさつ



『ライライと いっしょ』

上八田一坪図書館くれよんの会

昭和54年10月山梨県立図書館事業の一環として誕生。

現在会員15名。30代から70代までの幅広いメンバーで構成され、その活動は地域に根ざして脈々と受け継がれている。

地域の文化活動や育成会、学校等への事業にも参加し、人形劇や本の読み聞かせをとおして物語に興味を持ち、本とふれあう楽しさを共有してもらえるような活動をしている。

あなたも絵本の主人公！

南アルプス市立図書館マスコットキャラクター「ライライ」は、南アルプス山系で日本第2の高峰・北岳に生息している特別天然記念物「雷鳥」をモチーフにしています。

「ライライ」は、2003年の町村合併で旧6町村の図書館が市立図書館になったことをきっかけに、2005年に統一マスコットとして誕生しました。趣味は読書と人間観察で、頭上の赤い冠がチャームポイントです。

2017年の酉年にちなんで「ライライの顔出し絵本パネル」が中央図書館内のキッズコーナーに登場しました。パネルの穴から顔を出すと、あなたも、絵本『ライライといっしょ』の主人公！

ぜひ、いっしょに記念撮影してください。



<ライライの顔出しパネル>

中央図書館(055-280-3300)

中央図書館芦安分館(055-282-7285)

白根桃源図書館(055-284-6010)

八田ふれあい図書館(055-285-5010)

わかくさ図書館(055-283-1501)

甲西図書館(055-282-7291)